

名古屋第二赤十字病院

1. 献腎移植を行う体制

腎移植に関わりのある医師 10 人（日本臨床腎移植学会腎移植認定医の数 9 人）

スタッフ名簿

氏名	学会認定医・専門医
移植外科 渡井 至彦	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医、 日本泌尿器科学会指導医、 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医、 日本内視鏡外科学会技術認定医
移植外科 鳴海 俊治	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医、 日本外科学会認定医、日本外科学会専門医、日本外科学会指導医、 日本消化器外科学会認定医、日本消化器外科学会専門医、 日本消化器外科学会指導医、 日本消化器病学会専門医、日本消化器病学会指導医、 日本がん治療認定医機構暫定教育医、 消化器がん外科治療認定医、日本肝臓学会専門医、 ECFMG certification、検診マンモグラフィー読影認定医
移植内科 後藤 憲彦	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医、 日本内科学会総合内科専門医指導医、日本腎臓学会専門医、 日本循環器学会認定循環器専門医、 インфекションコントロールドクター（ICD）、 日本感染症学会感染症専門医
移植外科 平光 高久	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会認定医、日本乳癌学会認定医 日本外科学会外科専門医、精中委マンモグラフィー読影認定医、 麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科認定医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、 日本消化器外科学会専門医、日本内分泌外科・甲状腺外科学会専門医
移植内科 辻田 誠	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会認定医、日本腎臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
移植外科 岡田 学	日本臨床腎移植学会認定医、日本内分泌外科・甲状腺外科学会専門医、 日本移植学会認定医、日本外科学会外科専門医
移植内科 二村 健太	日本臨床腎移植学会認定医、日本内科学会認定内科医、 日本腎臓学会腎臓内科専門医、日本透析医学会透析専門医、 日本結核病学会結核抗酸菌症認定医、日本内科学会総合内科専門医、 インフェクションコントロールドクター（ICD）、日本移植学会認定医
移植外科 友杉 俊英	日本外科学会専門医、検診マンモグラフィー読影認定医
腎臓内科 武田 朝美	日本臨床腎移植学会認定医、日本内科学会認定医、 日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医
小児科 後藤 芳充	日本臨床腎移植学会認定医、日本小児科学会専門医、 日本腎臓学会専門医

手術に関する体制

緊急手術：可、緊急血液透析：可、緊急検査体制：可

移植術に対する麻酔科医、透析医の参加：有

手術後の経過観察の体制

腎臓内科医の参加：有、免疫抑制剤の血中濃度測定：有

献腎移植希望登録後の体制

フォローアップ(外来定期受診):有

その他のスタッフの体制

- 1)精神科医、臨床心理士等、心理の専門家 : 有
- 2)レシピエント移植コーディネーター : 有 (今井美登子、野畑真由美)
- 3)その他腎移植に関係する専門スタッフ : 日本臓器移植ネットワーク、病棟薬剤師、管理栄養士、医療社会事業部、HLA検査室、血液検査室、臨床心理士

2. 献腎移植の成績

献腎移植総数 293 例
 脳死下腭腎移植総数 12 例
 脳死下腭単独移植総数 5 例
 移植腎生着率

移植年	1 年	5 年	10 年	15 年	20 年
1980～1989 年	75.5%	68.9%	46.2%	38.7%	31.1%
1990～1999 年	89.3%	79.8%	70.2%	57.1%	46.9%
2000～2009 年	94%	76%	64.6%	61.8%	
2010 年～	97.8%	97.8%	7 年 97.8%		

3. 受診案内

担当科 移植外科・移植内科
 外来日程、担当者

曜日	月	火
献腎移植待機者外来		
時間	13:00～17:00	13:00～17:00
担当者	鳴海俊治 平光高久	渡井至彦・鳴海俊治 辻田誠・岡田学・二村健太

※予約方法 透析を受けている施設から名古屋第二赤十字病院の「医療連携室」に電話で「献腎移植希望登録」と伝えていただき、受診予約の取得をお願いします。

電話番号 (代)052-832-1121 「地域医療連携室」まで
 必要書類 保険証、医療証、初診時は透析施設からの紹介状をご持参ください。

4. 特色(自己PR)

当院での腎移植は腎臓病総合医療センターにおいて、移植医・腎臓内科医・小児科医の協力によるチーム医療で行っており、腎移植に精通した各領域の専門医のもとで、高度で且つ安全な移植医療を常時受けていただける体制をとっています。

当腎臓病総合医療センターでは、2018年4月までに生体腎移植1814例、献腎移植307例を行っており、献腎移植においてはハイリスクと考えられる患者さんへの腎移植が多い中、上記のような良好な移植腎生着率を保っています。また、多数の専門医による治療に加えて、腎移植について豊富な知識と経験をもつ看護師が看護と共に腎移植後生活の説明・指導を、薬剤師・栄養士が腎移植後の服薬・食事について説明・指導を行い、不安のない入院生活・外来通院を通して、満足していただける治療を目指しています。

